

## うたごえ運動で歌われた朝鮮の歌（4） 山根 俊郎

1962年 総連から本格的歌集出版

### 「われらの歌100曲集」出版

1962年4月に総連から初めて本格的な歌集が出版された。金日成元帥誕生50周年記念として「われらの歌100曲集」（ウリノレ100曲集・우리노래 100곡집）が朝鮮青年社から出版された。

朝鮮語で印刷されていて、掲載順序も北朝鮮の歌集の形式を模倣している。目次である。

1『愛国歌』（애국가、1947年朴世永作詞・金元均作曲）P1。2『金日成将軍の歌』（김일성장군의 노래 1946年 李燦作詞・金元均作曲）P5。3『金日成元帥に捧げる歌』（김일성원수님께 드리는 노래、1956年元ジョンソ [종소] 作詞・朴漢圭作曲）P9。の定番に続いて労働党関係4曲、『遊撃隊行進曲』など抗日歌謡6曲、最新ヒット曲39曲、民謡16曲、歴代有名曲と続く。興味深いのは、21『同胞よ立ち上がろう』（許南旗作詞・崔東玉作曲）など在日オリジナル曲（2曲）や共産圏の外国曲等も掲載されている点である。

また、47『臨津江』（リムジンガン・림진강 1957年朴世永作詞・高宗煥作曲）が載せられている。

なお、100曲集と謳っているが、実際は95曲である。この「われらの歌100曲集」は在日朝鮮人に大いに愛唱されたと思われる。

### 朝鮮レコード社のレコード発売

同年（1962年）に総連から初めてLPレコード（33 1/3RPM）が発売された。金日成元帥誕生50周年慶祝「朝鮮青年群衆舞踊曲集1」（千里馬レコード社・朝鮮青年社）1,200円である。

A面1『千里馬は走る』（천리마 달린다）1960年 南ケンソ [옹순] 作詞・金吉学作曲。  
2『職場の休息』（일터의 휴식）1959年 李東俊作詞・作曲。  
3『千里馬よ前に』（천리마여 앞으로）1960年 李ヒヨンウ [형우] 作詞・尹スンギュ [승규] 作曲。  
4『統一列車は走る』（통일열차 달린다）1961年朴山雲作詞・毛英一作曲。

B面1『美しい故郷』（아름다운 고향）1953年・朴テヨン [태연] 作詞・金福潤作曲。2『春の歌』（봄 노래）1951年・李曙郷作詞・李冕相作曲。

3『青春の誇り』（청춘의 자랑）1954年・趙スン [순] 作詞・金吉学作曲。

4民謡『トラジ打令（ターリヨン）』（도라지타령）。合唱：朝鮮中央芸術団合唱部、朝鮮大学合唱部。独唱：金安、洪峰子。演奏：朝鮮中央芸術団器楽部。編曲・指揮：崔東玉、独奏：（アコーデオン）李結雨（イ・ヨルウ）

解説（朝鮮語）：千里馬で勢いよく走りだしたわが祖国の芸術は、全面的に開花期に突入した。

わが国の芸術は、労働者と農民のものになり広汎な群衆の中で燐然と花開いている。

3年前（1959年）のオーストリア ウィーンで開催された第7次世界青年学生平和友好祝典でわが国は37ヶの金、銀、銅メダルを獲得して、世界の人々はわが国の芸術を『黄金の芸術』と呼んだ。朝鮮人民の芸術的才能と社会主义芸術の優越性を明らかに示したのである。（中略）

収録された曲は、朝鮮民族音楽の基本リズムである4分の3拍子と社会主义祖国の勇ましい姿を表わした4分の2拍子で構成されている。

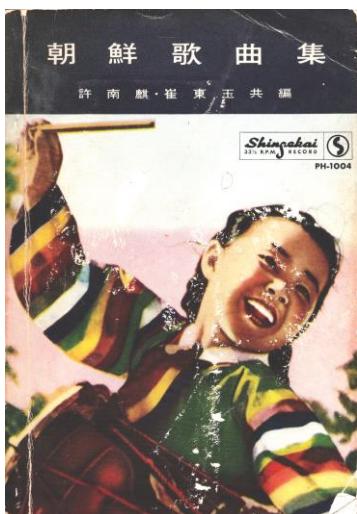
この「朝鮮青年群衆舞踊曲集」がアメリカ帝国主義とその文化政策に反対・排撃して、自分を熱烈な愛国主義の思想で武装して、民族的情緒を培養するために努力している男女青年学生たちに多くの助けを与えるものと信じる。

このレコードは、在日朝鮮人の若者たちに熱烈な愛国主義の思想で武装させて、民族的情緒を培養するために発売されたものである。

A面は北朝鮮の千里馬運動など政策を宣伝する歌である。B面は抒情的な歌である。①『美しい故郷』は「青年歌集」第5篇（1956年発行）に「1955年ポーランドのワルシャワで開催された第6次世界青年学生平和友好祝典で北朝鮮代表団から教えてもらった歌」として載せられている名曲である。



## 「朝鮮歌曲集」（日本語）発行



1964. 7. 15  
発行  
音楽の世界社  
全 57 曲  
領価 200 円  
許南旗・崔東玉共編  
発行者・矢沢 保  
遂に日本の出版社から北朝鮮の歌曲集が日本語で出版された。

「朝鮮歌曲集刊行にあたって」（趣旨）朝鮮の歌はアリラン・トラジしか知られていない。日本ともっとも近い朝鮮に対する認識がきわめて不充分である。私達がこの歌集の刊行を引き受けたのも朝鮮の優れた歌を紹介するとともにその歌を通して朝鮮についての認識を新たにし、日朝文化交流の一側面にして頂きたいと考えたからである。

歌曲集の内容は、1部が1930年代の金日成元帥のひきいる抗日パルチザンの愛国的伝統の歌。2部は朝鮮民主主義人民共和国北半部における偉大な社会建設の歌。3部は祖国の南半部から米帝を追い出し、一日も早く祖国の平和的統一を達成したいという朝鮮人民の願いの歌。4部は代表的な朝鮮民謡などである。1964年5月 音楽の世界社

そして興味深いのは音楽舞踊団カチューシャが音楽の世界社に企画を持ち込んだ点である。

■筆者紹介 許南旗・詩人。在日朝鮮文学芸術家同盟委員長。崔東玉・作曲家。在日朝鮮文学芸術家同盟東京本部委員長。

1部-1『愛国歌』 2『金日成將軍の歌』 3『輝け祖国』など15曲。2部-16『われらは千里馬に鞭うちかける』など18曲。3部-35『米帝出て行け!』など7曲。4部-41『アリラン』など民謡15曲。56『建設』（音楽舞踏団カチューシャ作詞・作曲）。57『東京一平壌』（日本のうたごえ集団創作）。全57曲収録。

歌には朝鮮語歌詞と許南旗が翻訳した日本語の歌詞が載せられている。日本人の梶井 陟（1曲）矢沢 保（2曲）も歌詞の翻訳している。

歌には日本語の説明が丁寧に記されていて理解が深まる。巻末の「朝鮮音楽の発展と朝鮮の歌曲」崔東玉の論文（4ページ分）は社会主義リアリズムを重視されていたことが分かる。

新しく創立された新世界レコード社が、この歌集で紹介された民謡を「朝鮮民謡集」（5枚）としてLPレコードを発売した。

また、1965年5月に総連結成10周年を記念して「われらの歌100曲集」（2）（実際は112曲）が朝鮮青年社から出版された。

## 「青年歌集」第9篇

1965年（昭和40年）6月1日発行  
定価100円、地方売価105円、送料30円  
編集者 関鑑子、発行人 杉浦敏郎、発行所 音楽センター

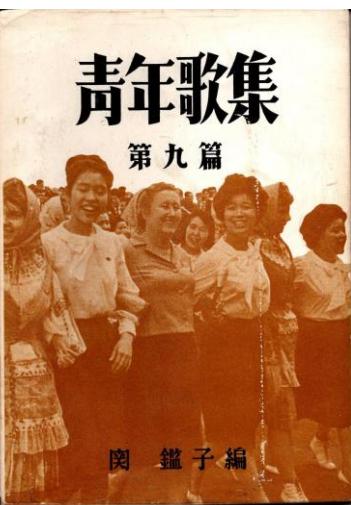
日本のうたごえ合唱団訪ソ公演記念

北朝鮮の歌は、4曲収録されている。

29『遊撃隊のカッコ一』（金東太作詞、金時栄作曲、関鑑子訳詞）P89-P91

→元歌不明。関鑑子が独自に入手した？

30『進め 千里馬』  
リ・ヒョン・ウ作曲、  
ユン・スン・ギュ作曲 P92-P93



→1960年『千里馬よ 前に』（チョンリマヨ アプロ・

천리마여 앞으로）リヒョン・ウ作詞/尹承九作曲。

31『今日も 大漁だ』（パク・ウォン・チョル作詞、キム・オク・ソン作曲）映画「海はよぶよ」主題歌。P94-P96

→1959年『今日も大漁だ』（オヌルド マンソンイダ・오늘도 만선이다）朴原哲作詞・金玉成作曲。

32『愛国歌』パク・セ・ヨン作詞、キム・ウォン・ギュン作曲 P96-P97

→1947年「愛国歌」（エグクカ・애국가=国歌）朴世永作詞・金元均作曲。

この4曲は前掲「朝鮮歌曲集」（64年発行）にハングルを除き日本語歌詞で転載している。（続）